

「ヨエル書」 יוֹאֵל 私訳と注解

1:2

ハーアーレツ	ヨーシュヴェー	コル	ヴェハアジーヌー	ハズケーニーム	ゾーット	シムウー
וְהִשְׁמַעְתִּי אֶת-זִקְנֵיהֶם			כָּל יוֹשְׁבֵי הָאָרֶץ			
長老(老人)たちよ			その地に			
これを			住む者たち			
聞きなさい			すべての			
形3男複・冠			副詞			
指単女			動完3男複命・接			
動完3音男複命			名女単・冠			
アヴォーデーヘム	ビーメー	ヴェイム	ビーメーヘム	ゾーット	ヘハーイェター	
הֲיָיְתָה זֹאת		בְּיָמֶיכֶם וְאִם		בְּיָמֶיכֶם אֲבֹתֵיכֶם		
こんなことが		それとも		あなたがたの先祖		
あつたらうか		あなた		あなたがたの時代		
指単女		接・接		名連複接尾2男複		
完3女単・疑		名・前		名連複接尾2男複		

〔私訳〕

老人たちよ。これを聞きなさい。その地に住むすべての者よ。耳を傾けなさい。

このようなことがあつたらうか。あなたがたの時代に。それとも、あなたがたの父祖の時代に。

〔注解〕

●前半は同義的パラレリズムが用いられています。指導者たちだけでなく、その地に住む者のすべてに「聞け」「耳を傾けよ」と呼びかけています。そして後半の文節は「וְאִם・・・」の二重疑問構文「・・か、それとも・・・」となっていて、これもパラレリズムといえることができます。このような例は、創世記17章17節にも見られます。「百歳の者に子どもが生まれようか。サラにしても、九十歳の女が子を産むことができようか。」

●疑問詞の母音記号は普通「ハ」(ה)と表記しますが、シェヴァを持つ子音の前や喉音の前では「ハ」(הּ)。ただし、喉音がカーメツを持つ時には「ヘ」(הֶ)となります。ヨエル1章2節の「あつたらうか」(הֲיָיְתָה)の場合がそれに当たります。喉音には弱喉音(א, ע)と、強喉音(ה, ח)があります。

●「ザーケーン」(זָקֵן)は形容詞で「年老いた、年長、老人、長老」を意味します。名詞の「ザーカーン」(זָקֵן)は「ひげ」を意味します。多くの老人のユダヤ人のは「ひげ」を生やしているのは自分の好みでそうしているのではなく、「老人とはひげをはやしている者」という語彙的根拠があるようです。動詞の「ザーカン」(זָקַן)は「年をとる、老いる」の意です。「その地に住む」とは、「ユダとエルサレムの人々」です(3:1)。

●「ゾーット」(זֹאת)は、「ゼ」(זֶ)の女性形。「これ、このこと、こんなこと」を意味する指示代名詞です。ここで指し示そうとしているのは、4節で初めて明らかにされる「いなご来襲による前代未聞の破滅的災害」です。ヨエル書の1章と2章はもっぱらこの破局を主題としています。「あなたがたの父祖の時代に」とあることと、未曾有の災害が起こることが主題となることから、ヨエル書1章2節の「ザーケーン」(זָקֵן)は「長老」よりも「老人」、あるいは、「年寄り」の訳の方がふさわしいと思われます。